

## 第2回 社会福祉大会

～みんなで福祉のまちづくり～

1月7日(土)、町文化センターで第2回社会福祉大会が開催され約300人が参加しました。福祉表彰では、運動教室の補助員などのボランティア活動を8年間続けている「田代ボランティアグループ」が受賞しました。また、福祉・ボランティア標語表彰や80歳で20本の自分の歯をお持ちの方を表彰する、8020表彰を行いました。



町長から賞状を受け取る唐仁原さん

### 【受賞者紹介(敬称略)】

#### ◎福祉表彰

田代ボランティアグループ

#### ◎8020表彰

内門 サナエ (神之浜区)  
川邊 滋 (原沢)  
川邊 チエ (原沢)  
久保 ヨシエ (宮脇)  
栗脇 衛 (寺前)  
笹原 ノブ子 (段中野)  
田淵 義夫 (山下)  
田端 一男 (盤山)  
吉永 道子 (塩屋)  
宿利原 義照 (宿利原)  
假屋 昭隆 (神川中)  
田之脇 リツ子 (西中郡)  
鳥越 稔 (塩屋)

#### ◎福祉・ボランティア標語表彰

##### 最優秀賞

唐仁原 幸海(田代小2年)

##### 優秀賞

小平 ひかる(池田小4年)  
有島 悠月(大根小5年)  
後釜 佑紀(錦江中1年)  
中村 真優(錦江中3年)  
前田 歩海(大根小2年)  
鶴田 風児(田代小3年)  
平原 佳樹(錦江中1年)  
濱田 優希(田代中2年)  
邊志切 尊(田代中3年)

##### 準優秀賞

## 第2弾

# MIRAI

## づくり講演会

テーマ：「人口減少社会に向けて  
老い方・死に方が変わる」

今回の社会福祉大会では、錦江町の「未来」を見つめるための「錦江町『MIRAI』づくり講演会」の第2弾として国際医療福祉大学医療福祉学部学部長の高橋 泰教授にご講演いただきました。

### 《講演の3つのポイント》

- ① 大隅半島の医療は介護・リハビリに特化している
- ② 介護・看護の負担を減らす国づくりが必要！
- ③ 「かっこよく老いてかっこよく死のう」

② 介護・看護の負担を減らす国づくりが必要！  
今後、少子高齢化は今以上に進み、2025年には団塊の世代が75歳を迎える。支える側は少なく、支えられる側は増加する。医療現場は、人工知能やハイテク技術を用いて現場の生産性を高めることで現場の人員不足を補い、労働環境の改善とより効率的なサービス提供を実現させる必要がある。それには、病院を集約し人員や病院の機能をまとめて効率を上げることも必要になる。

皆様と内容を共有すべく3つのポイントに分けてお伝えします。

### ① 大隅半島の医療は介護・リハビリに特化している！

一人あたりの医療費と介護給付費は、全国平均より高く一般病床数は非常に多い。また、看護師やリハビリのための療法士数が非常に多く、慢性的な病気やリハビリで回復を目指すには十分な環境が整っている。

しかし、脳こうそくや心臓発作など、急性の疾患に対応できる病院が少ないため、鹿屋市などが病院を集積するなどして、早急に対応を考えた方が良い。

### ③ 「かっこよく老いてかっこよく死のう」

人々の死生観が変化してきている。欧米では延命措置をしてまで生きたくないという人がほとんどだが、日本でもそのように考える人が増えてきた。高齢者の方は自分がどこまで生きたいのかを決めて「かっこよく老いてかっこよく死のう」



人口減少の危機を説明する高橋教授